

Plant

It Plant It Green!

— 都市の緑を「コモンズ」の視点から考え直す! —

Green!

映画『動いている庭』上映会 / 『Plant It Green!』シンポジウム

会場 / Web配信

◆ 日時：2025年3月1日（土） [開場 12:30]

- ・ 映画『動いている庭』上映会 13:00～14:45
※会場/Web共通
- ・ 『Plant It Green!』シンポジウム 15:00～17:00
※会場/Web共通

◆ 定員：会場 150名（登録先着順） ※各プログラム参加登録が必要
Web 150名（登録先着順） ※参加費無料

◆ 会場：名古屋国際センター 第一会議室（5階）
名古屋市中村区那古野一丁目47-1

◆ パネリスト ※順不同・敬称略

恵谷 浩子（奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室室長）
石川 幹子（中央大学研究開発機構・機構教授）
村上 慧（アーティスト）
エマニュエル・マレス（京都産業大学文化学部准教授）
澤崎 賢一（アーティスト・映像作家 / 総合地球環境学研究所 特任助教）

◆ 主催：Communis

◆ 後援：名古屋市

公益社団法人日本建築家協会東海支部愛知地域会

◆ 助成：クリエイティブ・リンク・ナゴヤ

◆ 協賛：株式会社イケガミ

伊藤倉庫株式会社

株式会社環境住宅研究所

株式会社サンテクノ

中京エクステリア問屋会

株式会社不動産工房

株式会社n.e.c.o.

PLANT ABOUT

文房具朝食会@名古屋（順不同・敬称略）

◆ 協力：SLOW ART LAB (SLOW ART CENTER NAGOYA)

◆ 上記パネリストによるセミナー、ワークショップも開催します。詳細は裏面をご確認ください。◆

< 問合せ先 >

Communis「Plant It Green!」事務局

・ e-mail : plant.it.green.mail@gmail.com

・ Plant It Green! ホームページ

<https://yata-architects.com/plant-it-green/>

参加登録は
こちらから

PDFデータでご覧の方は
URLかQRコードをクリック!



※参加登録はPlant It Green! ホームページから登録可能です。

※会場参加は複数のプログラムをまとめて登録できます。

Web配信は各プログラムごとに参加登録をお願い致します。

※詳細はPlant It Green! ホームページをご確認ください。



Instagram

恵谷 浩子 (えだに ひろこ)



奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室室長。専門は造園学。京都や岐阜、四万十川流域をはじめとする全国各地の文化的景観の調査研究に携わり、土地の自然条件、地域の来歴と現在から、それぞれの地域らしさと持続のあり方を探求している。著書に『地域のみかたー文化的景観学のすすめ』(共著)、『「京都の文化的景観」調査報告書』(共著)、『遺跡学の宇宙一戦後黎明期を築いた13人の記録』(共著)など。日本造園学会田村剛賞、日本イコモス奨励賞、造園大賞を受賞。

1 | Web配信セミナー

『風景を読み、生きるを考えるー京都/岐阜の調査から』

日時: 2025年 1月 17日(金) 19:30~21:00

定員: 150名 (登録先着順 / Web配信のみ)

石川 幹子 (いしかわ みきこ)



中央大学研究開発機構・機構教授、東京大学名誉教授。農学博士、技術士。専門は都市環境計画・設計。東大農学部卒、ハーバード大学デザイン大学院修士修了、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。日本都市計画学会論文賞(2001年)、EU環境基金最優秀賞(2003年)、土木学会デザイン最優秀賞(2007年)、日本都市計画学会計画設計賞(2007年)、みどりの学術賞(2008年)、日本造園学会著作賞(2022年)などを受賞。著書に『都市と緑地』(岩波書店)、『グリーンインフラ』(中央大学出版会)。社会的活動に四万十川大地震復興、東日本大震災復興まちづくり、神宮外苑の文化的資産の保全などがある。

2 | 会場 / Web配信セミナー

『グリーンインフラ: 歴史・自然・文化の結晶である社会の富』
～社会的共通資本としての緑地～

日時: 2025年 1月 25日(土) 14:00~16:00 [開場13:30]

定員: 会場 70名 | Web 150名 (各登録先着順)

会場: 名古屋国際センター 第三研修室(4階)
名古屋市中村区那古野一丁目47-1

村上 慧 (むらかみ さとし)



東京都生まれ。アーティスト。長野、千葉、東京を拠点に活動。主な展覧会に「村上慧 移住を生活する」(金沢21世紀美術館/2020)、「高松コンテンポラリーアート・フェスティバルvol.08」(高松市美術館/2019)、「TERRADA ART AWARD 2023 ファイナリスト展」(寺田倉庫/2024)など。著書に『家をせおって歩く かんぜん版』(福音館書店/2019年)、『家をせおって歩いた』(夕書房/2017年)および『イメージと正体の調査報告』(盆地edition/2024年)などがある。近年は千葉県山武市にて「村上勉強堂」計画を進めている。

3 | ワークショップ

『落ち葉の発酵熱を使った「足湯」をつくる』

日時: 2025年 2月 8日(土) ①10:00~12:00
②13:00~15:00

定員: ①② 各 20名 (登録先着順 / 会場参加のみ)

会場: 名古屋市西区那古野一丁目18-2

◆ 作品公開: 2/8(土)ー3/2(日)の金・土・日・祝 12:00~16:00
※ 作品公開はワークショップと同会場。公開期間中は鑑賞自由、「足湯」体験も可能。

エマニュエル・マレス



1978年、フランス出身。京都工芸繊維大学博士後期課程修了、工学博士。総合地球環境学研究所、奈良文化財研究所を経て、現在は京都産業大学文化学部准教授。専門は日本建築史・日本庭園史。日本庭園史学の研究を通して、日仏の庭園文化交流に尽力している。主な著書に『縁側から庭へ』(あいり出版)、編著に『庭師と旅人「動いている庭」から「第三風景」へ』(あいり出版)、『森羅の世界ー奈良・平安の庭を求めて』(奈良文化財研究所)。ドキュメンタリー映画『動いている庭』の企画・製作にも携わった。

4 | 会場 / Web配信セミナー

『庭に学ぶ、生活の美学 ジル・クレマンの動いている庭』

日時: 2025年 2月 24日(月/祝) 14:00~16:00 [開場13:30]

定員: 会場 70名 | Web 150名 (各登録先着順)

会場: 名古屋国際センター 第一会議室(5階)
名古屋市中村区那古野一丁目47-1

澤崎 賢一 (さわざき けんいち)



アーティスト/映像作家。総合地球環境学研究所 特任助教。京都市立芸術大学大学院 博士(美術)。映像を中心とした現代美術をベースにしながら、新たな芸術文化パラダイム創造のために、積極的に異分野や異文化の人々と共同でプロジェクトを行っている。澤崎が中心となり創設した学際的なプロジェクトとして、映像メディアの学際的活用のためのプラットフォーム「暮らしのモニター」や、「ヤングムスリムの窓: 芸術と学問のクロスワーク」など。主な作品に、多重層のドキュメンタリー映画『#まなざしのかたち』(124分, 2021年, 国内外受賞多数)、劇場公開映画『動いている庭』(85分, 2016年)などがある。

映画「動いている庭」監督

◆ 映画「動いている庭」/ ジル・クレマンについての詳細は、下記のホームページをご参照ください。

動いている庭 | The Garden in Movement ウェブサイト
URL: <http://garden-in-movement.com/>

